

考えてみよう！



それぞれのことわざの意味を考えて、オリジナルことわざをつくってみよう！（下の空欄に書いてね！）
右の空欄にはイラストも描いてみよう！

灯台下暗し

とうだいもとくらし

☆☆☆

意 身近なことなら気付くのが当然だと思われるが、近すぎるとかえってわからないこともあるということ。

ひたい

仏の顔も三度まで

ほとけのかおもさんどまで

☆☆☆

意 どんなに慈悲深いひとでも、繰り返し何度もいやなことをすれば怒るということ。

泣きっ面に蜂

なきっつらにはち

☆☆☆

意 泣いている顔にさらに蜂が刺す。不運や不幸が重なることのとえ。

類 傷口に塩を塗る

焼け石に水

やけいしにみず

☆☆☆

意 わずかばかりの努力や援助では、効果がほとんど期待できないことのとえ。

猫に小判

ねこにこばん

☆☆☆

意 どんなに価値のあるものでも、その価値のわからない者にとっては、値打ちもなく何の役にも立たないということ。

類 豚に真珠

類は友を呼ぶ

るいはともをよぶ

☆☆☆

意 気の合った者や似通った者は自然に寄り集まるとのこと。

二階から目薬

にかいからめぐすり

☆☆☆

意 二階から階下にいるひとに目薬をさそうとしてもなかなか入らないように、じれったくてもどかしいこと。回りくどくて全く効果のないこと。